

第5回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事録

●日 時：令和2年3月27日（金） 13：30～15：00

●場 所：土浦市役所3階 301・302会議室

●出席者：

[有識者会議委員（12人）]

大澤委員長，佐野副委員長，篠塚委員，森委員，眞山委員，富田委員，完賀委員，原田委員，松山委員，橋本委員，鬼澤委員，長島委員

[土浦市（10人）]

東郷副市長，井坂教育長，船沢市長公室長，望月総務部長，小松澤市民生活部長，川村保健福祉部長，塚本都市産業部長，岡田建設部長，羽生教育部長，飯村消防長

●事務局：山口政策企画課長，渡邊政策員，小川政策員

●配布資料：

資料Ⅰ－1 第4回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議議事録

資料Ⅰ－2 第4回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

資料Ⅱ－1 第2期土浦市，まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）及び総合戦略（案）のパブリック・コメント実施結果について

資料Ⅱ－2 第2期土浦市，まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）及び総合戦略（案）新旧対照表

資料Ⅲ 第2期土浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」（案）

資料Ⅳ 第2期土浦市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」（案）

1 開会

【事務局】

- ・新型コロナウイルスへの対応について説明

2 委員長あいさつ

- ・本日は第5回目の有識者会議であり、パブリック・コメントを受けての報告をしてもらう。
- ・まち・ひと・しごとは、中期的なビジョン、施策を決めていくものであるが、策定後は攻めの進捗管理をしてもらいたいと考えている。本日はよろしくお願ひしたい。

3 報告事項

(1) 第4回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議議事録について

【事務局説明】

(2) 第4回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

【事務局説明】

【委員長】

- ・事務局の説明があった内容について、意見や質問、不明な点等はあるか。
→特になし。

4 議事

(1) パブリック・コメントの結果と対応について

(2) 第2期土浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」(案)及び「総合戦略」(案)について

【事務局説明】

【委員】

- ・働き方改革を進めているところであるが、中小企業では働き方改革自体が重荷になっているのが現状である。今回の新型コロナウイルスのように、例えば、今回のように政府の緊急事態宣言が出たときには、21日間、およそ3週間自宅待機などが行われることもあり得る。第3次総合戦略以降では、何らかの状況で緊急的に社会全体がストップしなければならないときに、まちづくりの問題として、働いている市民の方々を応援できる体制を考えていく必要がある。
- ・モータリゼーション等によって、路線バスがなくなっている。自分の地区でも十数年バスが通っていない状況があり、地区の高齢者の住民も困っているという話をよく聞く。総合戦略では、現在から2045年の状況を見据えているわけだが、2045年以降は車社会が世界的にもかなり変わって、今、車を持っている方々も車を持たずに、皆で車をシェアするかもしれない。

車が電氣化され、SF映画のワンシーンのように自動運転の車が手を挙げれば止まってくれるようなことが将来起こり得ることなので、そうなったときに、土浦としてはどうするかということ、まちづくりと交通網という点で考える必要がある。

- ・働き手の問題として、農家の方々は、かなり高齢化が進み若い働き手を必要としているが、なかなか後継ぎが来ない、継承する人がいないことから、今多くの中国の方々が農繁期に手伝ってくれる状況である。しかし新型コロナウイルスの影響で、今は中国の方々が来れなくなってしまって、畑作業が全然できない農家が茨城県の中全体でみると結構あるということである。土浦市の状況をみた場合、いわゆる海外から来られている方、住んでいただける方、こうした方々は、当然働いていらっしゃるわけだが、果たしてその職種のバランスはどうか、その辺を見据えていかないと将来的なまちづくりがしにくくなるのではないかと。今日の議論でどうかして欲しいということではないが、将来的に見据えた状態をもう少し考えた方がよいのではないかと。
- ・協働については、自分達もやっているが、自分達でやるのも限界があるし、市にお願いしたときに、助けが来るのかということもそうでもない。例えば、市のそれぞれのセクションの方々に、市民の方から自分達でやりたいけど手伝ってもらえないかといったときにすんなりと話が通り情報がきちんと伝達することができるかといったいわゆる市政というか、行政の在り方を説く必要がある。縦主義ではなく横のつながりが大事である。現在本当にできているかということも現実にはそうでもない。いろんなセクションで同じことをやっている部分を、まとめてしまえば効率的であることも結構あるので、この辺も含め将来的に構成も考えていった方がよいのではないかと。

【事務局】

- ・今回たくさんの御提案を頂いたところであるが、個別にはたくさんの課題がある。先を見据えた危機管理を含め、市役所としても一丸となって取り組んでいきたい。

【副委員長】

- ・ここを変えていただきたいという意見ではないが、今回新たに誰もが活躍できる地域社会が戦略分野の大きな柱として入ってきた。有識者会議の中でも外国人の労働者の方のお話であるとか、土浦市の女性がこういった位置付けにあるのかなどが明らかになってきたと思う。今後このような形でどんどん変わっていく社会の中で、多様な人が活躍できるためには、こういった委員会の会議に外国人の方、障害者の方、高齢者の方、若い方、もっと多様な方が入ってくるような構成で進められるようになっていくといいのではないかと。

【事務局】

- ・市としても、市民の公募委員であるとか、男性女性の比率で女性の比率を増やそうとかいった努力をしているところであるが、まだまだ足りない部分がある。今後こういった会議には、外国人の方の意見、若い方の意見など多様な方々の意見が大変重要になるので、多様な方々がこうした会議に参画してもらえよう積極的に努めていきたい。

【委員長】

- ・働き方改革から働きがい改革へ移行するなど、単に就業時間の削減ではなく、働きがいを感じられる働き方、やりがいを含めた改革が必要であると考え。土浦のような歴史文化のある地域柄を大切にしながら、先行事例のいいところを取り入れ、進める考え、姿勢を今から確かに持っておいた方がよい。
- ・次期総合戦略の話になると思うが、いろいろな外国人の方についても会議に入れた方がよい。公募委員を増やすのかどうかはともかく、もう少し開かれた委員会構成が大事になる。

【委員】

- ・働き方改革が本当に働きやすいのか疑問を感じている。就業希望の保護者が今回の新型コロナウイルスの影響で就業を見合わせた場合の子の預かり問題が喫緊の課題である。当面は休職中扱いとしても今後はどうするのか。これは小さな問題ではなく、市民の切実な問題として捉えることができる。

【事務局】

- ・今般、働き方改革ということで、市でも残業を減らしたり、早く帰って家族サービスをしたりするというようなことがいわれていたところであるが、現在、新型コロナウイルスの影響で、就業が難しい、特に中小企業がずいぶん困っているという話、子供の学校休校の話を知っている。今後も、本市としても働き方改革を進めるのが国の方針でもあり国民の幸せでもあるかと思うので進めていきたいと思うが、就業関係とか、お子さんを預かる環境とかについても、市としても環境整備を進めていきたい。

【委員】

- ・有識者会議の意見やパブリック・コメントを踏まえて、今回人口ビジョン案と総合戦略案ができあがったという段階であると思うが、資料にもあるとおり、今後は実効性を高めるのにPDCAを回していくということで、その役割としてこの有識者会議があると認識している。そこで、施策をみていると、市でも1つの部署でできるものは少なく、各部横断的な施策が盛り込まれているという中においては、市の中でのPDCAの進め方を教えてもらいたい。

【事務局】

- ・今回まとめた総合戦略には、様々な事業を記載している。本市の最上位計画である総合計画の中には、3か年の事業実施計画があり、ここでPDCAを回していくが、総合戦略に位置付けられた事業をその事業実施計画の中にさらに位置付け、業務を進めていくことになる。そこでは、毎年ローリングで進捗管理を行っているので、進捗状況が悪ければ、さらにテコ入れを図るのか、廃止をするのかを毎年見直しをしながら進めていく。庁内ではそういった作業を進める一方で、外部としては、この有識者会議で総合戦略の進捗管理を行うので、両方で毎年見直しをしながら、ローリングをしながら進めていくような形になる。

【委員長】

- ・行政の内部と外部の2つで進捗管理を進めていくということであるが、今回は横断的な事業が多く広域連携もあるので、従来の延長戦上の対応策ではなく、行政の方でも将来的なことを意識しながら進めてもらいたい。

【委員】

- ・今回の新型コロナウイルスの状況下、世間の動きの中で感じたことがあった。ちょうど今、東京がパンデミック状態だということで東京都知事から話がある状況だ。ちょっとさかのぼると全て東京の一極集中であり、人口推移をみても、20年後30年後茨城県全体でみても、土浦市でみても、人口減少は避けられず、どう対策するのかということをお市町村でもいろいろ考えているところであろうと思うが、何が起こるか分からない世の中をみると、人口が集中することのリスクについての考え方を、市、県がというよりは、国としても考えていかなければならないようなことが起きる。人口ビジョンの中で、東京の代替として東京に近い茨城、土浦が担うという考え方ができる。東京のように人口の集約度や密集度が高くないからできるところと、インフラの整備の中で代替とまでは言えなくてもそこをカバーするようなものが備わっているところと、ある程度東京に集中するという人の流れや考え方が、多少地方の方に住んでいた方がメリットがあるのではないかなという考えへ変化することが先々出てくる可能性もあるかなというものを感じた。これから先はどうなるか分からないが、そういったことも頭に入れながら、まちづくりを考えていく一つのきっかけであるように感じた。

【事務局】

- ・国の総合戦略の方でも東京の一極集中が今回の第2期の総合戦略の中でもかなり問題になっているところであり、この是正を図ろうということで国の方でも積極的に施策を打っているところではあると思う。今御意見にあったように、本市でも東京からの近接性とか利便性の良さとか東京にはない歴史とか文化とかそういったものが本市にもたくさんあるので、そういったものを生かしながら、本市のまちづくりを進めていきたいと考えているし、現在では常磐線が東京駅・品川駅に乗り入れたせいか、この中心市街地でも人口は少しずつ回復傾向にあるので、こういったまちづくりを今後も進めていきたいと考えている。

【委員長】

- ・生活の場と働く場を効率化するために職住分離が起きてきたが、今回の新型コロナウイルスの件で職住近接の方にベクトルが少し変わってくる。そうすると、ここは難しいところではあるが、土浦は東京駅、品川駅に近いということで、生活の場と職場が近いということがメリットである。御指摘のように、人口ビジョンは、数だけでなく、内容の精査もかなり大事かなと思う。土浦へ人口流入が促進される可能性もありその流れを組み込めるような柔軟な工夫をお願いしたい。

【委員】

- ・人口ビジョンということで人を増やさないといけないが、子どもを産む前には結婚が必要かと思われる。総合戦略の24ページに「結婚支援の充実」というところで、「出会いの場の創出」で、「いばらき出会いサポートセンターとの協力」がある。このいばらき出会いサポートセンターは国内でもトップクラスの成果を挙げている組織かと思われるので、ぜひ全面に出して、名前は見たことがあっても、中身的なものを知らない方も多いかと思う。安い金額で、結婚できたときにもお金が発生しないいい組織であるので、前面に出して、市の方からもPRしてもらいたい。

【事務局】

- ・本市としてもサポートセンターと連携しながら、結婚支援を図っていきたい。

【委員】

- ・パブリック・コメントの意見や考え方とところで「協働の土壌の醸成」の浸透について書かれているが、改めてこういう形でスポットに当たったのはいいことだと思った。結果としては、変更なしということであるが、こういったものは当たり前にあるものではないし、市の財政が厳しいからといって、求めるものでもないと思う。また、土壌の醸成は心を育てるということであるから、なかなか指針、指標とか目標を立てるのは難しいところがあるかと思うが、経験的なものを積み上げるといったところでは、具体的なものをアイデアとしてあった方がいいということを感じて持った。
- ・テレワークは、果たして子育て中の保護者やその他の就業者の働きやすい働く場の創出のためだけなのかということでは疑問があった。こういう形で概念的にもう少し膨らんだ中で、職場における多様な働き方というくくりで書き添えていただいたのは非常によかった。図らずも今ちょうど新型コロナウイルスの件で実証実験を現実に行っているところだと思うが、職場における多様な働き方のできる環境づくりは、非常に大事なことなので、テレワーク以外にももう少し具体的なものがここに添えられたらもっとよい。テレワークは、女性の活躍とワークライフバランスだけではないはずであり、リスク管理の面でももっと価値があるものだと思うし、もっと他のものもきっとあると思うので、もう少し概念的に膨らました中でこういったものを添えられたら、もっといい形での計画になるのではないかと思った。これは感想である。

【事務局】

- ・テレワークは、今回新型コロナウイルスの関係で随分注目されており、これを機に一機に随分進んできたことであろうと思われる。テレワークは、ワークライフバランスだけではなく、働き方の中の一つであると考えており、本市においても、時差出勤などの取組もしている。今の御意見は、貴重な御意見として受け止め、さらに検討を進めていきたいと考えている。

※休憩、換気

【委員】

- ・市内の商工業者もイベントや飲食、宴会等が新型コロナウイルスの影響で大打撃を受けている。その中で新型コロナウイルスという目に見えない敵と戦っていくわけだが、先の見えない中で自分達が知りたいのは、県や市からの最新の正確な情報である。国の方でも無利子での融資を出したり、いろいろ頑張ってはくれているが、借りたら返さなければならないため、本当につらい状況である。この様なことから自分達は、最新の情報を知りたいというところが一番である。
- ・自分は、常磐線横浜駅乗り入れ推進協議会にも属している。先日もJR水戸支社に行き、いろいろ陳情をしてきたが、やはり乗客が減少している一方で、要望を聞き入れてくれない状況であった。自分達も乗り入れの利用促進にも力を入れているが、総合戦略にもあるとおり、市の方でも利用促進に力を入れてもらいたい。
- ・サイクリングのまちづくりについても、まとまって素晴らしいと思うが、こんなに素晴らしいインフラ面、ハード面ができていながらもかかわらず、未だに分かっていない市民もたくさんいる状況であるので、ソフト面で自分達にもできることがあれば一緒に頑張っていきたい。

【事務局】

- ・今回の新型コロナウイルス対策についての国からの情報については、自分達も新聞で報道されている内容しか知り得ていないが、無利子の貸付金であるとか、現金給付をするとか、商品券を配るとか、こういった情報についても、届き次第市民の皆様にもきちんとお知らせをしていきたい。
- ・サイクリングのまちづくりについても、サイクリストがだいぶ訪れるようになったと思うが、御意見のとおり、まだまだ市民に浸透していないので、市民の皆様にもこういったインフラが還元できるようにしっかりPRしていきたい。

【委員】

- ・総合戦略の28ページの基本施策をみると、「市民主体のまちづくりの推進」が大きなテーマになっている。自分もまちづくり市民会議に随分関わらせていただいたが、一つそこでいつも思うことは、多くの市民を参加させる仕組みをもう少し考えていただきたいと思う。区長が推薦して、出てくるという形式になっているので、なかなか一般参加ができにくい。やりたいと思う人が必ずしも推薦されない場面が出ていたので、せっかく意欲がある人が出られないような形はおかしいということで、一般公募を何度もお願いしたが、行政の方ではいろいろ問題があって、推薦の仕組みのまままちづくりということになった。そろそろその辺を検討していただいて、書類審査や面接もあるわけだから、本当にやりたいと手を挙げた人達を何とか救う方法を考えて、できるだけ多くの市民が参加して、いろんなことをできるような仕組みをつくるのが協働のまちづくりではないかと思う。
- ・協働のまちづくりについては、パブリック・コメントでも随分批判はあったが、前市長は、本当にいろいろと細かいことで、頑張ってくれた。必ずしも協働のまちづくりを小さくくりで考えないで、地域で一生懸命活動している人たちはたくさんいることを市の方でも少し皆さん

に分かりやすく見せていってくれたらよいと思うし、それが多くの人達を集めるために、大事なことではないかと思う。

- ・男女共同参画宣言をしても、土浦市の行政の中で、女性の表層だけをみて、女性の実力まで手を突っ込んでくれない。行政の皆さんも、女の人達がいろんなことをやりたくてうずうずしているというような状況がある。自分達女性団体の方でも福祉や環境やいろんな団体があり、その人達の力はものすごいものがあることから、その評価をお願いしたい。今回市長が女性になったことを契機に、女の人に対する視点を柔軟によろしくをお願いしたい。

【事務局】

- ・今委員から大きく2点ほど御意見を頂戴したので、順番にお答えしたい。まず、協働の視点で、多くの方を巻き込んでという意見については、まさに協働を進めるに当たっては、行政としても、門戸を開く形で、どういう手法ができるか検討させていただきたい。考える方向としては、いろいろな事業について、特定の方だけでなく、幅広く、やる気のある方を巻き込んでいくことが非常に重要なことであると考えている。
- ・女性の表象だけでなく、実力もみて欲しいという御意見については、自分の部署でも市役所の中で女性職員が活躍しており、チェック機能などの能力がとて高い職員もいる。各部署において、女性職員については、能力面で秀でている職員も多々おり、まさに委員のおっしゃるとおり、表象だけではなく実力を実際発揮されているので、そういう部分をいかに活用していくかはしっかりと取り組んでいきたい。

【委員】

- ・こうやって並んでいる職員の方を見ても、女性の職員は一人もいない。一人くらい女性が出てくるかなと思っているが一人も出てこない。制度的にいろいろ問題はあるかもしれないが、男性の意識を変えてもらいたい。
- ・まちづくりシンポジウムやフェスティバルなどイベントが取り上げられているが、重要な啓発である消費者の問題や環境の問題に関するイベントが消えていくのは問題かなと思うので、忘れないでいただきたい。

【事務局】

- ・女性の活躍の推進については、市長からも強く言われているが、市の組織としても、こうした会議に女性職員が出られるように努めたい。
- ・環境の部分に関しても、しっかりと受け止めていきたいと考えている。

【委員長】

- ・日本全体で環境対策については、少しずつトーンダウンしているが、そこは基本的なところなのでしっかり対応していただきたい。

【委員】

- ・娘が都内の大学に進学することになって、今度娘が住む所に行ってきた。そこは、とても小さな町なのだが、ちょっと散策したときに驚いたのが、個人のお肉屋さんとか八百屋さんとか自分が子供のときに近所にあったような個人商店が充実していて、人通りも多く、こういう治安がよさそうな安全なまちに娘を住まわせられて安心だなと思った。地元土浦もすごく歴史もあって、一緒に住んでいる家族の話を知ると、土浦の駅前も昔は非常ににぎわっていたとのことである。娘が住む町の印象としては、小さなお店があり住宅がその周りに密集していて、車が通れないような狭い路地だけど、人通りがあって、おそらくお店も家も近いため、店に人が行きやすいのかなと思った。今は、大きなショッピングセンターや大きな建物を1か所にまとめがちであり、それはそれで便利だが、大型商店を1か所にまとめたことで、小さいお店が近所からなくなる一方で、大型商店へ行く足もなくなって不便を感じるようになる。大きなお店はすごく便利ではあるが、むしろ自分の家の近くに小さくてもいいからお店があれば、すごく住みやすいまちという現状になるのかなとふと考えながら帰ってきた。どうしても駅前を中心に活性化と考えがちだが、中心部というだけの考え方じゃなくて、中心部じゃないところにそれほど大きくなくても、豊かなまちがあるということが暮らす市民からしたらすごく住みよいまちというイメージになるのではないかと感じている。活性化は、大きくにぎわうことだけではないと感じている。まちづくりを考えたときに、ここだけにぎわそうということではなく、人がいるところにその人達に必要なものを持ってくるということもあるのではないかと考えた。

【事務局】

- ・人口ビジョンの59ページや63ページにあるように、アンケートの結果では、買い物の場とか公共交通が充実してればいいと回答している方が多く、まさに今委員がおっしゃったことであると考えており、市民の皆さんのアンケートの結果に伝えられるようにしっかりと政策展開を図っていきたいと考えている。

【委員】

- ・よくまとめられていると思う。これで、国の仕事、県の仕事、全部やれることが明確になってきたと思うが、一番住民に近い行政体である市が何をやるのか、PDCAをやるということだが、どれだけ今度この戦略に沿って、市民の方がどう思ってどういう意見があるのかを吸い上げるのが大切であるとする。どういう方策でPDCAをやって、その結果をどうするのか、市民の代表の方や有識者を集めて、また、代表の御意見を聞いてまとめる作業をしていかなければいけないと思う。またそれを議会がやっていかなければならなくて、それが議会の役割ではあるが、市としても計画策定後はどのように考えているのか。

【事務局】

- ・今回5回集まっていたが、人口ビジョン・総合戦略を策定したところであるが、総合戦略については、市民の代表の方に集まっていたが、進行管理をきっちりやっていこうと考えている。庁内は庁内で、実施計画があり、いずれは市民の皆様を示せる体制になればよいと考えている。もちろん議会でも説明できる機会があればしたいと考えている。

【委員】

- ・市民の皆様には分かりやすく伝えることが大切であって、そこから上がってくる問題点をどのように吸い上げていくかが大事であると思うので、1つの課ではなく全庁で会議を実施してほしい。

【事務局】

- ・総合計画は、今後作るときに地区ごとに住民の方々に説明会に参加していただいて、今こんな施策を考えていて、こんな成果が挙げっていると説明をする中で御意見を頂戴して、計画を作っていくというプロセスがあるので、そういった中で、総合戦略も注視しながら、市民の皆様にとって分かりやすいものにしていきたい。

【委員長】

- ・今日の意見を踏まえた総合戦略の修正については、私に一任していただきたいがよろしいか。
→ [異議なしの声あり。]

【委員長】

- ・その他は何かあるか。なければ、事務局からお願いしたい。

【事務局】

- ・人口ビジョン及び総合戦略に対する意見書の提出は、3月30日月曜日に有識者会議を代表して、大澤委員長にお願いしたい。

【委員長】

- ・意見書は、私から提出するということがよろしいか。
→ [異議なしの声あり。]

【委員長】

- ・それでは、意見書は私の方で提出したいと思う。
- ・特に、今日いろんな御意見を頂いたが、PDCAサイクルを含めた進捗管理、こういう点を詰めた内容の意見書を作成したいと思うので、よろしくお願いしたい。
- ・それでは、事務局に司会をお返りする。

【事務局】

- ・今後、策定いたしました第2期人口ビジョン及び総合戦略につきましては、意見書の写しとあわせて、後日、委員の皆様へ送付させていただきます。

5 その他

【安藤市長あいさつ】

6 閉会

以 上